

あいさつ

白山の初冠雪の便りが聞かれ、いよいよ
スノーシーズン幕開けを感じる季節となりました。

日頃は、当連盟の諸事業にご協力をいただき
誠にありがとうございます。

さて昨シーズンは、降雪が少ない中でありましたが、大会及び行事がほぼ実施され関係者
皆様の、ご支援ご協力のおかげと感謝申し上げます。

当連盟初のオリンピック選手の石川晴菜さんが引退しました。彼女の石川県のスキー界
とくにジュニア達に夢目標を目指し、志を持って頑張れば、第二の石川選手になり、オリン
ピック出場を手に入れることができるとの意識が芽生えたのではと思います。彼女の今ま
でのご苦労ご活躍に敬意を表したいと思います。

一方、さっぽろ国体では入賞者が3名と少なく、天皇杯得点を伸ばすことができず、近年
にない結果に終わりました。

また、中部日本スキー大会においてもアルペン、クロスカントリーと中学生の部が新設さ
れ、総合得点で大差の準優勝に甘んじました。大会時に向けてのコンディショニング調整を
怠りなく、チーム石川としての団結で優勝入賞を目指し、インターハイ全中においても上位
入賞を獲得すべく、競技力の向上を図っていきたいと思います。

連盟今後の課題としては、雪と遊び、スキー場でそして自然の中で楽しく味わうスノー
スポーツとしての普及、会員の維持増強、ジュニア選手のさらなる強化、子供たちの雪遊びか
らスキー、スノーボードへのステップアップなど関係者各位のご支援を頂きながら進めて
いきたいと思います。

最後に、賛助会員の長年にわたるご協力に感謝申し上げ、来るシーズンの諸事業が降雪に
も恵まれ、会員皆様のご協力により、スムーズに運営ができますこと、そしてより多くの成
果が上げられますようお願い申し上げ、ご挨拶とします。

石川県スキー連盟
会長 山本 外勝